

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネアが最大0.29細胞/ml確認されました。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.10細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大0.36細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	アカシオ サンガイネア	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
藻津① (別図⑨) 採水時間 09:19 透明度 - m	5.0	18.2	34.5	6.7	0	0	0.03
大島中央① (別図⑤) 採水時間 09:31 透明度 - m	5.0	18.3	34.6	6.4	0	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 09:37 透明度 - m	5.0	18.3	34.6	6.3	0	0.1	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 9:56 透明度 - m	5.0	18.4	34.6	6.2	0.19	0.04	0.02
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:04 透明度 - m	5.0	18.6	34.6	6.5	0	0	0.11
弘浦② (別図①) 採水時間 10:17 透明度 - m	10.0	18.3	34.5	6.3	0.29	0	0.36